

令和 8 年度 第 1 回長野市林業振興審議会 議事録 概要

日 時：令和 8 年 7 月 30 日（木）午後 2 時 30 分から午後 3 時 40 分まで

場 所：長野市役所第一庁舎 7 階 第一・第二委員会室

出席者：委員 11 名、事務局 8 名 計 19 名

次 第：1 開会

2 挨拶

3 委員委嘱

4 自己紹介

5 会長及び副会長の選出

6 議事

（1）長野市森林経営管理計画について

（2）長野市森林整備計画について

（3）その他

7 その他

8 閉会

議事（概要）

議題 1 長野市森林経営管理計画について

資料 1 と長野市森林経営管理計画に基づき、事務局から説明

宮入副会長

4 ページのところで、総合計画との関連が記載されており、総合計画が令和 8 年までとなっているため、これで新しい計画ができてくると思うが、この計画との関連はどうなっているのか。

事務局

総合計画と森林経営管理計画との整合性をとりながら、総合計画の見直しについて進めている。

宮入副会長

計画書自体を改定することはないという理解で良いか。

事務局

森林経営管理計画は現状のまま継続していくため、これを総合計画の方に反映させていくというような形になるかと。

議題2 長野市森林経営管理計画書について

資料2、長野市森林整備計画に基づき、事務局から説明

岡野会長

資料2の8ページ目の標準伐期齢+10年とは主伐のことか。

事務局

資料2の5ページにあった、標準伐期齢+10年ということで、主伐を指すが、あくまで指標のこと。

岡野会長

主伐の指標を標準伐期齢にするのは、これ以上早く伐ることはないという意味の数値かなと思う。それ自体があまり説明されない状態で、一般の方がこれを見ると、50年で伐るのがいいと思ってしまう。また、間伐をなささいというのが、40年、50年だが、すでに60年ぐらいになっている林があると思う。そういうのはどうなるのか。

事務局

この指標は、市が決めたというわけではなく、水源涵養や山地災害防止森林として指定する場合、こうしなさいという地域森林計画に基づいている。

伐採（主伐）のときに、これに指定したところで、標準伐期齢+10年、または、標準伐期齢の2倍になっていないところは、まだ主伐を控えてくださいという指標。

岡野会長

長野市の森林の現状に即した形で、計画の説明をしていくべきだと思う。特に長野市の西側はかなり地すべり地帯になっている。そういうところは、地すべりを抑制するための管理を、国交省でもやってると思う。そういうことも含めて説明をしていかないと、説得力、実行力のある計画にならないと思う。

事務局

国や県から来るのものをそのままではなく、しっかり我々の方で咀嚼しながら、長野市の森林の進展に合うように、しっかり考えていきたい。

宮入副会長

資料2の8ページに、機能別のゾーニングの図面が出ていたため、見方を教えてほしい。この中にある小さな区分は小班で良いのか。

事務局

色塗りの図面については、小班単位。林班の図示はこの図面にはないが、ゾーニング自体は小班でやっている。森林所有者レベルである施業番号に関しては、ここでは出てこないが、その小班を構成しているのが、施業番号の集まりで、その各面積的割合や人口林率で、各種ゾーニングを整理している。

宮入副会長

特に水色のたくさんある公益的機能別の図面は、かなり細かなデータがたくさんある印象だが、どういう指定がされていて、どういう機能があるかというような情報は、所有者の方にお知らせしているのか。

事務局

森林計画自体が、最初の施業番号という単位自体が、所有者レベルで分けられていない。それが100%なら、そういう形をお示しできるが、森林計画自体は、まず尾根や谷で大きく林班をくくって、さらに字界や小班で区切って、その中で、樹種など、森林計画レベルの所有者で分けているのが施業番号であり、実際の所有者が、その森林計画に100%出てくるとは限られていないため、現状は難しい。

宮入副会長

所有者の皆さんのご理解を進める上でこういったものがうまく伝わるといいかなと思う。例えば、大きな地区の図の中で、自分の所有してる森林がこんな役割や施業の方針を持っているということを知っていただくとか、何かいい加工ができると、こういったものも、より所有者の皆さんの理解に繋がっていくかなと思う。ぜひ研究してほしい。

事務局

長野市の行政地図サービスというのがあり、実際の所有界は出ないが、地番検索すると、正しいところに、実際のところが落ちるようになってきている。色々な各セッションが行政地図サービスを作っていることもあるため、森林いのしか対策課としても、そこに森林計画図を反映していく予定

岡野会長

資料２のゾーニングの地図は見れるのか。

事務局

あくまでも市町村森林整備計画書（ホームページ）の中にしかない。

岡野会長

所有者や一般の方にとっても長野市の森林がどういう状況かということを広めていくためには、情報公開が大切。ただ、個人の細かいところまでの公表は、個人情報、土地所有面積など、色々な問題が絡んでくるため、中々難しいし、そこまでのデータがいるのかということだと思う。それが触れない程度のところで、変更のデータを出していけたら良いと思う。